

## 令和5年度 そらのいろ事業報告

### ◇利用状況

- ・利用者 19名（令和6年3月時点） 新入所者2名（4月1名、8月1名）

### ◇職員状況

- ・管理者兼サービス管理責任者1名
- ・生活支援員 常勤職員 5名 非常勤職員 8名
- ・看護師常勤1名 合計15名

### ◇行事

- ・入所式 4月3日
- ・個別面談 1回目 3月～5月 2回目 9月～11月
- ・健康診断 6/22 健康づくり財団健診
- ・保護者会 3/9
- ・避難訓練 年2回
- ・成人式 1月9日
- ・うどんの日 6月～10月 月に2回ずつ
- ・牛井の日 月に1回
- ・クリスマスコンサート 12月18日

### ◇活動内容

- ・散歩 北秋津コース 2kmくらいの通常ルート
- ・大散歩 航空公園まで歩き、公園内も個別で1周しています。全部歩くと4km～5km
- ・サークル活動 音楽広場 3B体操 臨床美術 年4回ずつ
- ・体育館活動 ボール 大縄 ストレッチ 鬼ごっこ バランスボール パラバレーン

### ○作業

- ・分別作業 みつばち作業所より委託作業
- ・製品作り 紙すき→メモ帳. コースター. ブックカバー等 箸袋 ランチ旗 さをり
- ・缶つぶし 各ご家庭からいただいています。
- ・製品販売・所沢市役所内福祉の店「ポピンズ」
  - ・「キビルアクション」にそらのいろで制作したさをりを納入しています
  - ・「ツリーハウス ニコリコ」へ箸袋、ランチ旗を納入しています

### ◇令和5年の振り返り

新規の利用者としては4月に1名、8月に1名で、どちらの方もそらのいろの生活にすぐに慣れてくれたお陰で、全体的に不安定になることなく落ち着いて過ごすことができました。

活動としては新たに体育館での運動を取り入れ、普段の運動量を増やすこと、運動が得意な方にとっては全力で走ること、ボールを蹴ることは散歩や公園では難しいため安全で目の届きやすい体育館で発散してもらうことを目的としましたが、皆積極的に参加してくれて汗をかくくらい運動してくれました。また季節の製作はパートさんが中心になり企画、進行をしてくれて玄関やフロアの飾り、プレゼントなどを作りました。

コロナへの制限が緩和し、少しずつ外出を考えられるようになりましたが、様子を見ながら「ブルーベリー狩り」「狭山博物館」「いちご狩り」と年度の後半にはなりますが行ってきました。

職員配置が大きく変わり、年度始めにはパートさんの間でも不安があったようですが、それぞれが役割を把握して支援してくれていたお陰で大きな問題もなく安全に過ごすことができました。

保護者との面談では「そらのいろで良かった」「安心して通わせることができます」と嬉しくなるような言葉を頂いていますが、保護者との連携と協力なければ今の利用者さんの落ち着いている生活はなかったと思います。これを当たり前と思わずに感謝をして日々の支援をしていきたいです。

## 令和5年度 にじのいろ事業報告

### にじのいろ支援方針

- (1) 利用者一人ひとりの個性と可能性、自己選択、自己決定を尊重した支援を行う。
- (2) 様々な活動を通して生き生きと日常生活を送れる場とする。
- (3) 利用者の家族、地域機関、地域社会の連携を図り、信頼関係を確立し開放的な施設運営を図る。

### 利用状況

- ・ご利用者 11 名 (4 月入所 2 名)

### 職員状況

- ・管理者(理事・さくらのいろ管理と兼務) 1 名 ・サービス管理責任者 1 名(常勤)
- ・看護師(常勤) 1 名
- ・生活支援員(常勤) 2 名
- ・生活支援員(非常勤) 4 名← 6 月よりプラス 1 名(理事・そらのいろと兼務)
- ・朝の送迎専門ドライバー 1 名

### 運営活動

- ・保護者会 → 3/2
- ・個別面談(ご家族との個別支援計画を中心とした面談)  
→ 5・6・7・8・9・10・11・1・2・3 月
- ・健康診断 → 6/22 健康づくり財団健診 そらのいろにて

### 活動内容

- ・散歩 → 近隣の散歩コース(高峰公園・椿峰中央公園)  
→ 車で移動後、公園内散歩・施設内見学(狭山公園・東村山中央公園・彩の森公園  
小平中央公園・入間市富士見公園・稲荷山公園 狭山博物館・入間博物館アリット)
- ・作業  
解体分別作業(デアゴスティーニ・講談社の模型・雑誌・カレンダー等)  
→ みつばち作業所さんより分別の依頼・分別終了後、納品  
製品づくり(ジーンズ生地を装飾したホワイトボード等々、かわいい身の回り品作成)  
→ ニコリコさん・ハーモニーさん主催祭りに、出品  
シール貼り → ニコリコさんより依頼(クッキーの箱に、シールを貼った)

3B 体操 →年間 12 回(第二火曜午後実施・水谷先生)

音楽広場 →年間 12 回(第三水曜日実施・平野先生)

避難訓練 →年 2 回実施 火災 10/27 地震・非常食の試食 2/27

季節の制作 →母の日・父の日・クリスマス等々、季節に合わせてご利用者が制作

行事 →なつまつり 8/10 バオバブの木 20 周年フェスティバル 10/21

みかん狩り 11/16

クリスマスコンサート(そらのいろ・さくらのいろと合同) 12/18

成人式 1/30 節分会 2/2

お楽しみ献立 お好み焼き 10/31 「にじ家の牛丼」 2/22 (皆で育てた玉ねぎを使用)

### ★一年間のにじのいろの支援を振り返って

新年度、人間わかき高等支援学校の卒業生のお二人を迎え入れて、ご利用者 11 名人、法人内 他事業所からの職員の異動者の 2 名を加え、令和 5 年度のにじのいろが、スタートしました。

「春」新人のお二人、そして先輩のご利用者も、新しい仲間を迎えた環境の中、皆さんが自分を出しつつ日々を送られて、支援員は、そのご様子をほほえましく見つめたり汗びっしょりになりながら応援する日々でした。

「夏」毎日、暑さを更新するような夏でした。熱中症に気を付けながら、日々の活動を十分に考え過ぎました。その中で盆踊りの練習タイムを繰り返しながら、夏祭りを、期待していた皆さんでした。当日は、ゲームコーナーや美味しいお昼午後のお化け屋敷と、大盛り上がりでした。

「秋」夏が長かった分、短く感じましたが、待ちに待った散歩も、沢山出掛ける事が出来秋の美しい景色を、満喫しました。

「冬」ご利用者そして職員の息がぴったりと合ってきたこの時期でした。散歩や作業など、充実した日々を送ることが、出来ました。皆さんで植えた玉ねぎの苗を、3 か月掛かけて大きくして、その玉ねぎで作ってとても美味しかった「にじ家の牛丼」が皆さんの思い出となりました。

一年間を通して、今年度も賑やかなにじのいろでした。冬の時期までに皆で、作り上げてきた「みんなの力」を、さらに高めていけるように、職員はさらに研鑽を深めながら、令和 6 年度を、進めて参ります。

## ～令和5年度 さくらのいろ 事業報告～

### 【さくらのいろ支援方針】

- ① 一人一人の個性と可能性、自己選択・自己決定を尊重する
- ② 様々な活動を通して生き生きと日常生活を送れる場とする
- ③ 利用者の家族・地域機関・地域社会の連携を図り、信頼関係を確立し開放的な施設運営を図る

### 【利用状況】

■新規利用者: 3名

(入間わかかさ高等特別支援学校、清瀬特別支援学校、所沢おおぞら特別支援学校より)

■利用者: 8名

(そらのいろ、にじのいろより4名ずつ)

■開所日数: 252日

■平均利用人数:10.2名

### 【職員体制】

管理者1名、サービス管理責任者1名、支援員5名、看護師1名

・職員会議:1～2回/月

### 【さくらのいろ本年度の支援目標】

- ① 新しい環境、新しい生活に慣れる
- ② 見通しを持って日常生活を送れるようにする
- ③ 利用者の特徴を捉え、支援員との信頼関係・意思疎通を図れるようにする
- ④ 利用者の意思を汲みながら、楽しんで活動に参加できるようにする

### 【活動】

#### ■散歩

航空公園、カルチャーパーク、滝の城址公園、金山緑地公園、全生園、三富今昔村多摩湖、狭山湖、サクラタウン、入間市博物館アリット、小平中央公園

#### ■作業

・みつばち作業所より委託→分解・解体・分別 作業

・ヤナコーポレーションより委託→カレンダービニール入れ、チラシ折り

・製品作り→ウィーピング小物

※作業は他者を意識して「一緒」に取り組む、支援者と「一緒」に取り組む、作業を通してコミュニケーションをとりながら人との関係づくりを大切にしてきた。

#### ■土曜日開所→月1回

ガスミュージアム、東京都薬用植物園、航空記念館映画、東大和市立郷土博物館プラネタリウム

#### ■制作

季節の行事、壁面作り、フォトフレーム

#### ■レクリエーション

- ・夏祭り、さかなつり、椅子取りゲーム、福笑い、カレーパーティー（カルチャーパーク）
- ・お楽しみ（紅茶の日、かき氷、カラオケ）月1回買い弁当 外食（全生園食堂）
- ・クリスマスコンサート

#### ■3B体操（柳瀬公民館ホールにて）

#### ■その他

- ・避難訓練
- ・個別面談
- ・保護者会:3月9日

#### ■振り返り

さくらのいろは、人々から愛されているさくらと、春のやわらかい風に吹かれ、幸せな気持ちをその名前に込めそんな場所で、利用者さんと穏やかで、のびのび楽しく過ごしたいと願い開所しました。

今年度は全員が1年生、コミュニケーションを大切に取り組みました。

はじめに、利用者さん一人ひとりの想いや意思を踏まえ、小さなことでもそれが実現できるような支援を目指してきました。

まずは、他者や支援者との関係づくりから、本人が生き生きと「こだわり」行為ができるよう配慮し、その「楽しさ」を支援員と共有していくことで、より信頼しあえるような関係が築かれていったと思います。

また、問題とされる行為の時は、対症療法的に注意したり叱ったりするのではなく、本人が生活全般リラックスできる環境づくりや、支援者との関係づくりに目を向けてきました。その中で、本人の「嫌い」「つらい」といった意思表示を察したうえで、共感と受容を繰り返し、情緒の安定につながり、集団にも馴染み、問題行為もなくなっていました。

さくらのいろの一年目が過ぎ、支援目標に上げた新しい生活に慣れる。見通しをもって生活を送る。支援員との信頼関係は、積み重ねてきた対人関係が実を結び、自分の意思を伝え集団活動も楽しめるようになってきました。引き続き意思疎通を図りながら、本人の想いを大切に、指示や命令的な言動にならないよう、「楽しい経験」を共有し、さくらのいろの生活を「自分の意思」で行動できるように支援していきたいと思っています。

# 令和5年度 しろいくじら活動報告

【職員体制】…… 常勤職員2名(うち管理者兼児童発達支援管理責任者1名)、非常勤7名

【利用児童】……14名(うち小学部12名、中学部2名)

## 【運営活動】

- ・ 職員会議 } 月1回
- ・ 常勤会議 }
- ・ あおいくじら・しろいくじら全体会議 ……年1回  
※あおいくじら・しろいくじら合同職員研修実施(障害者虐待防止・権利擁護/身体拘束の適正化)
- ・ 支援計画更新に伴う個別面談 ……年2回
- ・ あおいくじら・しろいくじら合同保護者会 ……年2回
- ・ 避難訓練(地震想定、火災想定、通報訓練、消火訓練、伝言ダイヤルテスト)年4回
- ・ 自己評価及び保護者評価の実施 ……年1回

## 【活動内容】

- ・ 月～金(放課後、長期休暇、学校休業日)、月1回土曜開所する場合あり
- ・ 戸外活動……公園遊び(長者久保公園、航空公園、茨原公園など)  
……歩き散歩(北秋津方面、西新井町方面など)片道約1.5キロ圏内
- ・ 室内活動……3B体操、音楽ひろば、誕生日会、季節ごとの制作、ボーリング大会、大布遊びなど
- ・ 行事……七夕祭り、夏祭り、川遊び、法人20周年イベント、ハロウィン、節分、卒業/進級を祝う会など
- ・ あおいくじら・しろいくじら合同行事……くじらマーケット、芋掘り、クリスマス会、初詣など
- ・ その他……他事業所とハロウィンイベント(あすみるくらぶ)、お買い物ごっこ(たっちえーる)

## 【令和5年度を振り返って】

・ コロナが5月から5月に位置付けされ少しずつ緩和されたことで、活動の幅も広げることができた1年でした。特に夏休みでは支援学校の先生が2名それぞれ研修で訪問してくださり一緒に過ごしながら“海あそび”や“スイカ割り”などのイベントを開催することができました。その他にも日高総合公園へ行ったり、夏祭りや買い物ごっこ、20周年企画等…夏休みだけでなく年間を通してイベントが多い年ではありましたが、職員それぞれが責任をもって事前の計画、準備を行い実施に至ったことで大きな怪我もなく、くじららしい良い経験に繋げることができたのではないかと思います。

また、地域交流として他事業所の方々と合同イベントを開催することもでき職員としても学ぶことが沢山ありました。交流会など今後も親交を深めながら繋がりを大切にしていきたいです。

しろいくじらでは、社会参加に向けて必要な力をつける土台作りの年齢の子たちが多くいます。

沢山の経験は決して成功体験や楽しいことだけではなく、出来ない事、苦手な事にも直面します。そんな時にチャレンジしてみる力や、乗り越える力、出来なくても気持ちを整える力をつけていく事が、くじらでの集団生活の中で大切なことだと感じています。

戸外活動では季節を感じながら公園で思い切り遊ぶ、室内では行事に親しみをもてるように季節の制作に取り組み素敵な作品を持ち帰ることその時の成長をご家族に見てもらう、感じてもらうことを大切にしました。

たくさん遊ぶ時間・心を落ち着かせる時間、“動と静”のバランスを大切にしながら、今後も子どもたちだけでなく、ご家族にとっても安心できるくじらを目指し、成長を共に見守らせていただこうと思います。

## 令和5年度 あおいくじら活動報告

### 【テーマ】自分でできる事は自分で取り組む

【1】 職員体制 常勤：2名（うち管理者兼児童発達支援管理責任者1名） 非常勤：4～7名

【2】 利用児童 小学部：2名 中学部：5名 高等部：7名 計14名

しろいくじらからの持ち上がりが小学部、中学部合わせて4名おり、計14名の登録です。

### 【3】 運営活動

職員会議（あおいくじら）……………1回/月

常勤会議（あおいくじら・しろいくじら）…1回/月

全体会議（あおいくじら・しろいくじら）…2回/年

個別面談……………2回/年(コロナ禍のため対策をしながら実施)

合同保護者会……………2回/年(半年毎の活動を冊子で配布)

事業所自己評価……………保護者向け・事業所向け それぞれ年度末に実施

【4】 活動内容 ▷月曜日～土曜日（平日の午後、長期休業日、学校休業日、月一回程度の土曜開所日）

・散歩……………航空公園、北の台公園、茨原西公園、東川沿い、長者久保公園、秋水公園、他

・社会体験…散歩、買い物、公園の利用

・外部……………3B体操、音楽ひろば

・季節行事…制作、お花見散歩、制作、誕生日会、芋掘り（しろいくじらとの外出イベント）

夏祭り、ハロウィン、クリスマス会(しろいくじらと合同)、節分、卒業を祝う会

※コロナウイルスの感染拡大防止の為、基本的にあおいくじら・しろいくじら別々の活動

・避難訓練…4回/年：概要 火災、地震訓練（消防立ち合いなし）…通報、避難、伝言ダイヤル

### 【5】 振り返り

新年度が始まり、活動のリズム作りを開始していく中で、昼食作り、おやつ作り(職員が調理して提供した)は控えつつ、外出活動では散歩して公園に行くことを中心としながら、お出掛けや買い物、外食等も実施していきました。室内では季節に応じた制作へ取り組み、四季を感じてもらえたのではないかと思います。また、しろいくじらと合同で芋掘りやクリスマス会を実施できたことは、利用者にとっても貴重な体験になったと思います。

活動においては「自分でできる事は自分で取り組む」というテーマをもとに、利用者の皆様が少しでも取り組みやすいようになればと職員で話し合い、支援方法の検討、実践、検証を繰り返していく事で、利用者の取り組みに変化が見られました。同時に職員の意識に変化があったことで、利用者への関わり方の変化もあり、結果として職員のスキルアップに繋がったのではないかと思います。

しろいくじらからの新規利用者4名は、早い段階からあおいくじらの活動に大きな戸惑いを見せることなく参加することができ、スムーズに定着できました。また保護者の皆様のご協力により、年2回の保護者会にも沢山の方がご参加いただき、意見交換や交流ができました。更に、個別面談でも利用者の現状やこれからのこと等、様々な意見交換ができました。

利用者の皆様はあおいくじらでの活動を通して、様々な体験をする事で成長・変化があった1年になったのではないかと思います。

## 令和5年度 相談事業所 Sonik 事業報告

### ○ Sonik 支援方針

利用者の意向を踏まえ、それぞれの地域で日常生活、社会生活を営むことができるよう、当該利用者の心身の状況、その他置かれている環境に応じて、多様な事業所との連携を図りながら総合的なサービスの提供に努める。

### ○ Sonik 活動内容

#### (1) 職員体制

令和5年4月～ 管理者1名、相談支援専門員2名

#### (2) 登録者数（令和6年3月31日現在）

計画相談支援	障害児相談支援
29名	102名

※相談契約者のうち、法人内サービス利用者数25名

（そのうちの6名・にじの1名・あおいくじら8名・しろいくじら3名・さくら7名）

※契約者のうち、所沢市以外の自治体利用者数1名（清瀬市）

#### (3) 障害児相談支援・計画相談支援 支援内容

相談支援給付に記されている時期に、計画書の作成またはモニタリングを行い所沢市へ提出を行う。支援として必要な場合は担当者会議を開催し利用者にかかわる関係者の連携をはかる。また利用者のサービス利用状況の把握のためにモニタリング時に訪問を行う。

#### 《 令和5年度の特徴的内容 》

児童から成人に移行した場合、3カ月間は毎月のモニタリングがあり、1人あたりの作業量や時間が膨らんできた。また、ショートステイや居宅介護利用者の増加により、3カ月ごとのモニタリングも増えた。

児童においては、多職種連携が必要な困難ケースが増え、相談の対応と会議の調整に時間がかかった。

18歳未満のショートステイの希望（保護者のレスパイトなど）が多かったが、受け入れ施設が少なく、対応に苦慮した。

#### 《 法人内での支援の連携 》

相談事業利用者のうち、放課後等デイサービスや生活介護利用者は、各事業所の面談の同席や、頻繁な情報交換ができ、支援を連携させることができた。



## 令和5年度 日中一時支援ふれいりー事業報告

### 1 事業主体

所沢市・清瀬市

### 2 事業目的

障害者の家族等の就労や日常生活を支援するため、一時的に見守りが必要な障害者の保護及び生活の場を確保するため、日中一時支援サービスを行う。

### 3 職員体制

常勤職員：2名（うちサービス提供責任者：介護福祉士1名） 非常勤職員：5名

### 4 営業時間

月曜日～金曜日 8：30～9：00 及び 15：30～19：00

### 5 利用者

所沢市 17名（うち外部利用者 2名） 清瀬市 3名

### 6 事業内容

利用人数の増加により、以前のようなおやつ提供が難しい状況もあり、令和5年度もおやつ提供に替えてパック飲料の提供を行っています。好みのパック飲料を飲んでいただいた後、テレビを見たり好きなことをやったりして自由な時間を過ごしてもらっています。

令和5年度は、職員体制に余裕がなかったため、職員の欠勤時には他の生活介護事業所の職員に支援に入ってもらったり、送迎をやってもらったりすることがありました。おかげで、支援に支障をきたすことなくすみ、ご協力に感謝しています。

春先の送迎トラブル、玄関扉の鍵が抜けなくなるトラブル等はあったものの大きな事故なく事業の遂行ができました。